

【同時発表】

港湾局産業港湾課、北九州市



令和元年 10 月 29 日

九州地方整備局

開港 130 周年記念！「みなとオアシス門司港」新規登録

～レトロな街並みと海辺の交流で更なる賑わいを創出～

令和元年 11 月 15 日に「みなとオアシス門司港」（福岡県北九州市）が 134 箇所目のみなとオアシスに登録されます。発展を続ける「北九州港」において、地域住民の交流促進や地域の魅力の向上につながる取り組みを行います。

- 「みなとオアシス」とは、「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、住民参加による地域振興の取組が継続的に行われる施設を国土交通省港湾局長が登録するものです。
- 「みなとオアシス門司港」の登録により、「みなとオアシス」は全国で 134 箇所、九州管内で 18 箇所となります。
- 11 月 16 日（土）の「北九州港開港 130 周年記念式典」にて、「みなとオアシス登録証交付式」を開催するとともに、市民参加型のアートイベントや音楽ライブイベント、イルミネーション点灯式といった各種のイベントも開催されます。

- 代表施設「旧大連航路上屋」は、昭和 4 年に建設され、北九州・門司港の国際ターミナルとして使われていました。現在は、各種多目的スペースを活用してのイベントや文化・芸術の発表の場であり、また映画・芸能資料館「松永文庫」もあります。
- 門司港レトロ中心地区では、国指定重要文化財にも指定されている、大正ロマン漂う建造物群を散策することができます。また一年を通して様々なイベントが開催されます。
- 日本三大みなと祭りのひとつである門司みなと祭りは、祝賀パレードを中心に門司の文化・伝統が披露される盛りだくさんのお祭りです。



旧大連航路上屋



門司みなと祭り



関門海峡花火大会

※ 「みなとオアシス門司港」の詳細については、別紙－１、別紙－２、別紙－３、別紙－４をご参照願います。

<問い合わせ先>

国土交通省 九州地方整備局 港湾空港部 クルーズ振興・港湾物流企画室

担当：計画企画官 工藤 寛之（くどう ひろゆき）

課長補佐 西坂 博文（にしざか ひろふみ）

Tel:092-418-3340（代表）092-418-3379（直通） Fax:092-418-3037

「みなとオアシス」の概要

○みなとオアシスとは

- ・地域住民の交流や観光の振興を通じた地域の活性化に資する「みなと」を核としたまちづくりを促進するため、平成15年に制度を設立
- ・国土交通省港湾局長が住民参加による地域振興の取り組みが継続的に行われる施設を登録するもの

○みなとオアシスの担う役割

- ・地域住民、観光客、クルーズ旅客等の交流及び休憩
- ・地域の観光及び交通に関する情報提供
- ・その他（災害時の支援、商業機能 など）

○みなとオアシスの構成施設

- ・旅客ターミナル
- ・地元産品の物販飲食店
- ・文化交流施設 など

○みなとオアシスの設置者・運営者

- ・地方公共団体（港湾管理者含む）
- ・NPO団体、協議会 など



標章
(シンボルマーク)

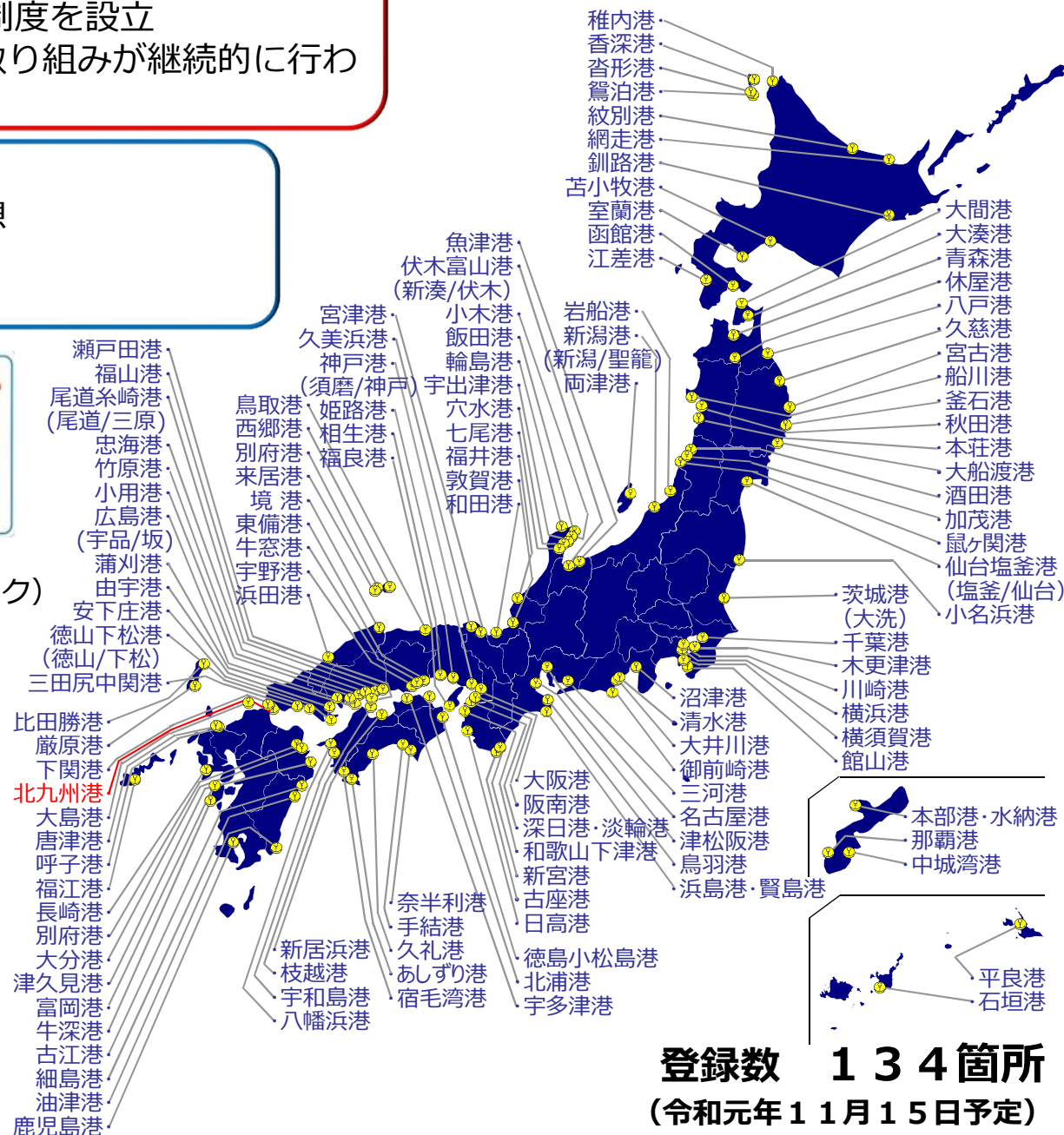


構成施設のイメージ



地域振興イベントの開催状況

みなとオアシス所在港湾の一覧



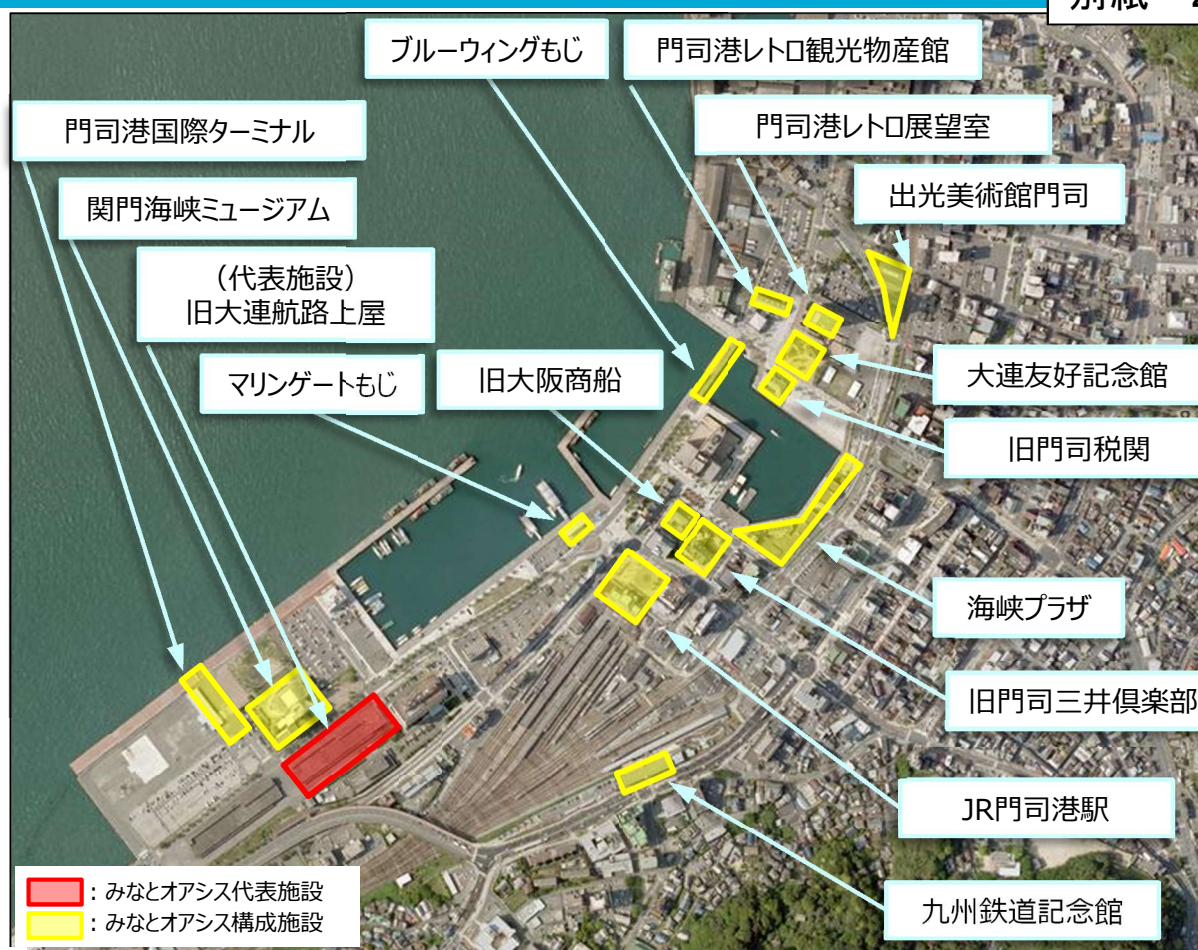
【概要】みなとオアシス門司港



国土地理院地図（電子国土Web）(<http://maps.gsi.go.jp>)をもとに国土交通省作成

【基本情報】

設置者	北九州市
運営者	みなとオアシス門司港運営協議会
所在港湾	北九州港【国際拠点港湾】
港湾管理者	北九州市
登録予定日	令和元年11月15日



【代表施設】



旧大連航路上屋

【主なイベント】



門司みなと祭



門司海峡花火大会



関門港ボート天国

「みなとオアシス門司港」 北九州港の歴史

北九州港は、古くは朝鮮、中国との交易における我が国の西の門戸として、また、近代は日本の工業化を支える港としての役割を果たしてきた、歴史ある国際貿易港です。

明治初期には「外国貿易の門司」、「国内流通の小倉」、「鉄・石炭の洞海」として、3つの港がそれぞれの特色を活かして発展してきました。

海辺を港として利用するには、岸に船がつきやすいような工事をする必要があります。

北九州港は、港湾都市として発展してきたため、それを支えるみなとづくりが積極的行われました。

1889年 門司港が国の特別輸出港に指定

1891年 九州鉄道本社の設置

門司起点とする九州鉄道が開通し、名実ともに陸海における九州の門戸に。欧州からの貨客船や中国との定期航路など、門司港は大変な賑わいを見せていました。

1904年 若松港が国の特別輸出入港に指定

明治41年(1908年)には、「世界屈指の帆船港」と評されるほど。昭和初期には、門司と若松両港で全九州の貿易総額の80%近くを占めていました。

1931年 小倉港が一般開港の指定

戦前は国内貿易を主体とした商業港として運営されましたが、戦後の整備が進むと共に外国貿易が始まり、主にセメントの輸出に利用されました。

1964年 北九州港の誕生

北九州市の発足を機に、門司港、小倉港、洞海港が統合し「北九州港」となりました。

～現在

現在も施設の更新や拡充が続けられており、モノづくりを支え、まちを元気にする港として、着実な成長を続けています。



旧門司税関

旧門司税関は、明治45年(1912年)に建築された、門司港レトロの歴史的建物群の中で最古の建物です。昭和初期まで税関庁舎として使われました。

門司港駅は、大正3年(1914年)に建築された駅舎で、1988年に駅舎として日本で初めて国指定重要文化財に指定されました。2019年3月に保存修理工事が完了し、創業当時の姿に復元されました。



門司港駅



旧門司三井倶楽部

旧門司三井倶楽部は、大正10年(1921年)三井物産の社交倶楽部として建築された国指定重要文化財。アインシュタインも宿泊した格式高い社交場でした。

旧大連航路上屋は、昭和4年(1929年)に門司税関1号上屋として建てられ国際ターミナルとして使われました。平成25年にリニューアルオープン。



旧大連航路上屋

「みなとオアシス門司港」レトロな街並みと海辺の交流

年間約200万人の観光客が訪れる観光地・門司港レトロ地区。
関門海峡に面した美しい景色を背景に、大正ロマン漂う歴史的な建造物が立ち並びます。
関門海峡を挟んだ「みなとオアシス下関」へは渡船でわずか5分です。魅力あふれる関門地区へ、ぜひお越しください！



① 代表施設：旧大連航路上屋



「みなとオアシス門司港」 一年を通して様々なイベントでおもてなし

門司みなと祭

5月下旬

門司みなと祭は日本三大みなと祭りのひとつとして、数えられているお祭りです。メインは祝賀パレードでミスポート門司を先頭に音楽隊やシャギリ隊、仮装者ら約2,000人が参加し、街中を華やかに行進します。その他、総おどりや門司港バナナの叩き売りなど門司の文化、伝統が披露される盛りだくさんのお祭りです。



関門港ボート天国

7月中旬

夏本番に入り、海水浴等マリレジャーの機会が多くなることから、水難事故等に備えた訓練の見学や、SWIM & RUN・プレジャーボート等のイベントを通じて、海洋レジャーの楽しさを体験します。



関門海峡花火大会

8月13日

毎年8月13日に開催され、関門の夏の風物詩として海峡の夜を華やかに演出します。海峡を挟んで打ち上げる打ち上げ花火大会は世界でも珍しいもの。兩岸あわせて約15,000発の花火が打ち上げられます。



門司港イルミネーション

11月頃～3月頃

冬の門司港が幻想的な光に包まれます。歴史的建造物のライトアップ、ツリーイルミネーション、フォトスポットもたっぷり。レトロでロマンチックな夜を演出します



「みなとオアシス門司港」へのアクセス



【交通・アクセス】

(鉄道)

・博多駅 → (1時間30分) → 門司港駅 → (徒歩5分) → 旧大連航路上屋

(飛行機)

・北九州空港 (北九州エアポートバス「小倉駅ノンストップバス」) → (33分) → JR小倉駅新幹線口 (JR乗り換え) → (15分) → 門司港駅

・福岡空港 (地下鉄) → (5分) → 博多駅 → (1時間30分) → 門司港駅

(渡船)

・下関・唐戸 (関門連絡船) → (5分) → 門司港 → (徒歩5分) → 旧大連航路上屋

【観光案内の問い合わせ】

門司港レトロ総合インフォメーション

所在地：〒801-0852 北九州市門司区港町7-1

電話：093-321-4151 営業時間：9:00～18:00 定休日：なし